



宮崎公立大学の今を伝える

# MMU SHiP

エムエムユー  
シップ

特集1

## ハワイ大学2校と 学術交流協定を締結！

特集2

### 宮崎のなかのハワイ 青島の魅力

しっぽり語る。× 視界よっ！ 中国留学特集  
**REAL VOICE** 教えてみんなのサブカル事情  
**KYO-SHiP** 中山 本文 教授  
**CIRCLE DE GOSHIP** いろんな場所に出没するサークル  
連続リレーエッセイ いいだしっぺ 福田 稔 教授  
**MMU NEWS PLUS**  
未来の compass 日向市立財光寺中学校教諭 淵田 春香 さん

Miyazaki Municipal  
University  
Communication Magazine  
"MMU SHiP"

vol.08

今回の表紙 ハワイ大学 カピオラニ・コミュニティカレッジでの異文化実習中の学生  
特集1のテーマは、ハワイ大学との学術交流協定締結について。昨今、グローバル人材の育成が取り沙汰されている中、宮崎公立大学（以下、MMU）では毎年、入学定員の半数を超える学生を海外に送り出しています。写真は、異文化実習中のハワイでの様子。留学は、語学を学ぶに限らず、文化や習慣も学べる貴重な機会です。（P. 2へ）

宮崎公立大学広報誌「MMU SHiP vol.8」は、MMUの職員が企画・取材・執筆・デザインを行いました。

## 2015 年度異文化実習に参加しました！

KCC 異文化実習第 1 期生 (1 年)  
椎 智菜美さん

現地の方から、ウクレレやフラダンスを学ぶプログラムが設けられていたり、様々なサイトビジットを行ったりと、ハワイの文化や歴史を学びながら、語学力の向上を図ることができました。また、休日にバスに乗って出かけたり、ダイヤモンドヘッドに登ったりと、ハワイならではの貴重な経験ができました。



KCC 異文化実習第 1 期生 (3 年)  
本武 靖也さん

ハワイのプログラムでは、インタビューなどによって英語を話す機会がたくさん用意されており、英語力の向上に繋がりました。さらにハワイ語も学べるので、一気に trilingual です！(笑) 現地の学生や他国からの留学生との交流はもちろんです。フラダンスを踊ったり、ビーチに出かけたりと、ハワイの文化にもたくさん触れることができ、とても充実した 3 週間でした。



## 留学に関することは グローバルセンターへ！！



グローバルセンター  
主任主事 小林 元気

グローバルセンターでは、留学に関する情報の提供や、相談・質問を受け付けています。

Q: KCC への異文化実習費用はどの程度ですか？

A: 航空券等の渡航費が 20 万円、現地滞在費と授業料が 35 万円、食費や小遣いで 5 万円で総額 60 万円となりますが、渡航費の半額分 (上限 10 万円) が大学から助成されますので、今年度の自己負担総額は約 50 万円でした。

Q: 治安は？

A: ハワイはとても治安のいいところです。日本人観光客だけでなく、日系の住民も多いので安心です。

Q: 研修中に休日はありますか？

A: 基本的に土日は休日となります。英語力向上のため休日用の課題が準備されていますが、時間を有効に活用することで、ハワイの文化に触れる機会を設けることも可能です。

MMU の皆さん、アロハ！

KCC の魅力はなんといっても多様な学問・文化を、多様な考えを持った人たちと共に学べること！グローバルに活躍したい、視野を広げたいといったダイナミックな考えをお持ちの方にとってもおすすめです！



KCC (短期留学担当)  
佐藤 Kapuaolehua さをり 准教授

# 新たにハワイ大学 2 校と 学術交流協定を締結しました。

2015 年 6 月、宮崎公立大学は、ハワイ大学マノア校インダストリアルリレーションズセンターおよびハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジと学術交流協定を締結しました。これを機に、更なる国際交流の発展と、語学教育の充実をより一層図ってまいります。

ハワイ大学マノア校  
インダストリアルリレーションズセンター



ハワイ大学マノア校は、世界約 80 カ国、アメリカ全 50 州より約 20,000 名の学生が学んでいるハワイで最大かつ最も知名度の高い大学です。第二外国語教育研究では全米 1 位を誇り、言語学、遺伝学などハワイの特徴を生かした学問も非常に盛んに行われています。この度、協定を締結したマノア校の附属施設であるインダストリアルリレーションズセンターでは、主に労使関連の研究が行われており、共同研究や教職員の相互派遣等にて協力をを行います。  
(大学データ) 創立：1907 年、学生数：約 20,000 名、留学生数：約 1,200 名、学生教授比率 13 : 1

ハワイ大学  
カピオラニ・コミュニティカレッジ



カピオラニ・コミュニティカレッジは、ハワイ大学機構のコミュニティ・カレッジ 7 校のうち、最大の規模を誇り、本学と同様にリベラルアーツ教育を実施している学校です。キャンパスは、世界的に有名なワイキキビーチの東に位置するダイヤモンドヘッドの近くにあることから、とても景色が良いのが特徴です。また、繁華街にも近く、非常に便利な環境にあり治安も良好なため、留学生に大変人気がある短期大学です。  
(大学データ) 創立：1964 年、学生数：約 8,700 名、留学生数：約 650 名、学生教授比率 20 : 1

学術交流協定締結によって、新たにカピオラニ・コミュニティカレッジ (KCC) との異文化実習 (短期派遣研修) がスタートしました。

## プログラム内容について

### 英語を学ぶ

文法やライティングはもとより、会話中心にアクティビティやゲームを行いつつ英語力の向上を図ります。また、地元学生との交流もあります。



KCC (短期留学担当)  
Palakiko Yagodich 教授

### 歴史や文化を学ぶ

ハワイの歴史、文化、伝統的な知恵・暮らし方や価値観から、自分たちの役割を考えたり、日系移民の歴史などをワークショップ等を通して学びます。また、フラダンスの体験やレイを作るワークショップも開催され、たくさんのハワイ文化を体験することができます。

(サイトビジット先)

- ・パールハーバー USS ミズーリ号
- ・KCC ファーマーズマーケット
- ・カメハメハ 5 世司法センター
- ・ワイメア植物園
- ・プランテーションビレッジ など



大久保 弘樹 さん  
4年 日本文学ゼミ

vol.08  
中国 / 蘇州大学  
CHINA / Soochow University

世界へ漕ぎだせ!  
視界  
YOSHIPI!  
よしっ!

合同企画  
中国留学特集



七野 帆乃美さん (延辺大学: トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム\*)

中国・韓国の2度の異文化実習を通して中国朝鮮族について知り、興味を持ちました。少数民族である彼らの自治州における生活から、日本におけるマイノリティの方でも住みやすい、生きやすい社会づくりのヒントを得たいと思っています。また、食においても文化が交わるころなので、料理教室などにも参加したいですね。

\*トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム  
2014年からスタートした官民協働海外留学支援制度。



延辺大学

2015年は、MMUから8名の学生が中国へ留学する。  
半年から一年間に渡って中国で何を学ぶのか、  
留学に向けての抱負を語ってもらいました。



北京語言大学

津波 愛乃さん (北京語言大学: 国費留学)

異文化実習で蘇州大学へ行ったときにニュースで初めて外から日本を見て衝撃を受けました。将来新聞記者になりたいので、中国語の勉強を通して、日本人の知らない日本や、現地で感じた中国を伝えたいです。日本中国友好協会が募集する中国政府奨学生の漢語進修生として、1年間みっちり中国語を勉強してきます。

小林 南海子さん (四川大学: 私費留学)

初めての異文化実習で「中国をもっと知りたい!」と思い、もともと中国の食文化にも興味があったので、2度目の異文化実習では中国の食文化を研究テーマに掲げて参加しました。私費留学は留学先を自由に選択できるので、四川大学を留学先と決めて、食文化に関する研究をさらに深めたいと思っています!



四川大学  
重慶大学



上野 麻衣さん (蘇州大学: 公費留学)

今中国で何が流行っているか、日本ではあまり知られていないように感じます。中国の方にも日本に対する親近感を持ってほしいので、留学中は多くの人の興味を引くサブカルチャーを題材に、中国についてブログで紹介していきたいです。もちろん、中国の様々なところに出かけていきたいですね。

瀬戸口 千史さん (蘇州大学: 公費留学)

異文化実習で見た中国が自分のイメージと大きく違って、もっと中国について知りたいと思い、留学を決めました。中国文化論ゼミに所属していることもあって、留学中は中国の伝統的な舞台演劇である「崑曲」について学び、中国へ行ったことのない人に、中国の面白さを伝えられるようにしたいですね。

蘇州大学



馬込 国幸さん (蘇州大学: 公費留学)

短期研修でMMUに来た留学生たちが、別れ際に「日本が大好きになった」と言ってくれてとても嬉しかったのを覚えています。異文化実習で中国を訪れた際も、不安な中で多くの中国人の方々が親密に接してくれました。今回の留学でも、「何事も、評価する上で一度は自分の目で見てみる」姿勢で臨みたいと思います。

濱園 夏菜さん (蘇州大学: 公費留学)

私が中国語を勉強するようになったのは、中国語の音の響きに魅せられたからなんです。異文化実習で現地の方に発音を褒められたことも嬉しかったので、留学中は発音を中心にもっと中国語を勉強したいと思っています。将来就く仕事でも、中国語を生かして働いていきたいですね。

田中 亮佑さん (重慶大学: 国費留学)

言語を学ぶ喜びって、バックグラウンドの異なる人たちを理解しようとするのだと思います。日本ではあまり知られていませんが、重慶は日本軍が戦略爆撃を行った地です。その重慶で、戦後70年の節目に日本人の僕に何ができるかを考え、行動したいと思っています。また、重慶は食べ物辛いので挑戦したいですね。

公費留学 (蘇州大学) のMMUによる支援

- 該当期間の授業料免除 (MMU及び蘇州大学に支払う授業料の全てを免除)
  - 該当期間、奨学金4万円を毎月支給
  - 協定校等での学修を、本学の単位として認定 (一部卒業単位として利用可能)
- ※発行時現在。支援内容は渡航先によって異なります。

きっかけは「卓球」だった

中学生の頃から卓球を始め、部活動だけでなく、地域のクラブにも参加していた私は、高校生になると「将来は、卓球専門誌の記者になりたい」と思うようになりました。その会社を調べるうちに、SNSを通して会社の方と繋がりを持つことができ、自分の将来について話したとき、「何か一つ身に付けることが大切だ」と言われたんです。MMUでは幅広く様々なことを学べるのが魅力です。その中で、卓球に関わる仕事をしたという思いを叶えるために、自分は何を身に付けなければならないのか。そのように悩んでいることを察してか、大学1年の冬に会社の方から卓球の全日本選手権を観に行かないかと誘っていた。その際、偶然にも会場で福原愛さんとお話する機会がありました。流暢に中国語を話す彼女を見て、卓球が盛んで強豪国でもある中国の言葉を学べば仕事でもきつと役に立つ、そう考えて大学2年次より中国語を履修し始めたんです。

自然と溶け込んでいった中国での生活

始めるからには公費留学しようと思ったので、懸念に中国語を勉強する傍ら、公費留学の選抜試験では面接試験も課されているため、合格するための戦略を練りました。筆記試験は思い通りの点数を得られなかったものの、思いの丈を熱く語った面接試験で満点を取ることができ、無事、公費留学の切符を手に入れることができました。留学先の蘇州大学には大学2年次の冬に異文化実習で一度行っていたので、公費留学もスムーズに始めることができました。韓国人の留学生とルームシェアしていたのですが、年齢が近いこともあってすぐに打ち解けることができました。大学では、朝8時半から昼までは必修科目、午後は3時まで選択科目を学び、それ以後は様々な国の学生と交流するサークル活動のほか、得意な卓球を通して日本語学科以外の学生とも広く知りあうことができました。試合にも参加し、蘇州市の大会では、中国、

講義ではディスカッションの時間がとても多く、海外の留学生は遠慮せずにとことん発言して熱くなることもありました。でも講義が終わると元通りに皆仲良く昼食に行くんです。それがとても印象的でした。



留学先で様々な国籍の学生たちと交流できたのは、貴重な思い出ですね。



留学中に一時帰国し、東京で開催された卓球の世界選手権で通訳ボランティアをしました。これはそのときに親しくなった、中国代表でロンドン五輪金メダリストの張繼科(チャン・ジーカ)選手と撮った一枚です。



これから留学を目指す方へ

多くの方が、大学に入学してから中国語を学び始めます。その意味で、英語に比べて中国語を学ぶスタートラインは皆同じです。目標を立ててしっかり勉強すれば、誰でも語学力を向上させることはできますし、誰にでも公費留学のチャンスはあります。また、将来何をしたいのか、留学経験をどのように生かすのかを考えて留学に臨んでほしいですね。そして留学中、何度か体調を崩したので、自省を込めて、留学先では体調管理に気をつけてほしいと思います。

留学を経て思うこと

公費留学に行く前と後で変わったことは特にありません。今まで留学と聞くと、人生が変わったとか、考え方が180度変わったということを目にしていきましたが、私の場合は、1年間留学に行っただけで、自己というものはそんなに変わらない、というのが結論です。確かに語学力は上がりました。また、留学先では気さくに話しかけてくれる方がいる一方で、日本を批判する声もたくさん聞きました。そのように中国の良い部分も悪い部分も見えたことは留学してからこそだと思っています。ただ、私の場合、中国語を学び公費留学へと進んだのは、「卓球に関わる仕事に就きたい」という思いが発端です。で、近い将来、仕事において自らの語学力が生かされたときなど、『ああ、あのとき留学したから今これができるんだ』と思つて、それがいいと思います。そのとき初めて自分が変わったことに気付くのではないかと考えています。



皆、表情がとても優しい。海が、空が、ビーチが、人々をリラックスさせている。再び海に目をやると、海面にぼつぼつと人影が見える。サーフィンやボディーボードに興じる人々が波を待っているのだ。さらに沖にはカラフルなヨットの帆が見える。海面を滑ると滑る様子はいかにも涼しげだ。海岸線に沿ってきれいな遊歩道が整備されており、犬を連れて散歩する人、ランナー、自転車で駆けぬける人、それぞれに海岸を楽しんでいる。

海や海が見える風景に包まれながら、身体を動かし、発汗する。どこに目をやっても、青と白と緑のコントラスト。最後にこんなにも「広い」景色を眺めたのは、どのくらいのことだろうか。いつまでも眺めていたい、いつまでも包まれていたい。この場所には、そんな魅力がある。そして私ははたと気づく。中心市街地の利便性と青島の大自然を同時に味わうことができる、宮崎市に住むことの贅沢に。

1日南線のディーゼル車。がたごとのんびり走る風情のある列車である。2幸せを呼ぶという黄色いポスト。3青島ビーチマーケット。営業は夏季限定。4南国カラーのトゥクトゥクが海辺の景色に馴染む。5青島は絶好のサーフポイント。世界大会も開催されている。6海岸沿いの遊歩道。木花運動公園から青島漁港付近まで整備されている。7植物園の中にひっそりと佇む埴輪。背中にQRコードがついていて、県内の観光情報を発信している。8青島駅付近にある漁師料理屋さんのお刺身。びっくりするほど新鮮で美味しい。

# 特集2 宮崎のなかのハワイ 青島の魅力

「ハワイ」と聞いて、頭に浮かぶイメージはなんだろう。青い空、白い砂浜、南国の植物？しかし、それらはハワイの専売特許ではない。宮崎市青島の魅力に迫る。



9月某日。突き抜けるような快晴は、換言すれば太陽光線を遮る雲の不在であり、暦の上ではもう秋だというのに、宮崎市内の気温は当然のように摂氏30度を上回る。市街地のコンクリートは熱気を蓄え、冷房の効いた建物の一歩外に出れば、たちまち汗は吹き出し、身体は急激な温度変化に戸惑う。いくら地方とはいえ、宮崎市の中心市街地はビルが立ち並びアスファルトジャングル。全身が水を欲している。海だ。海が見たい。

JR南宮崎駅から一両編成のディーゼル車に飛び乗り、日南線を南下すること25分。青島駅に降り立つと、中心市街地の喧騒は消え失せ、どこか小学生の頃の夏休みを思い出させるような、ノスタルジックな景色が眼前に広がる。レトロな石畳に誘われるまま数分も歩くと、そこには紺碧の海と空、人々が波と戯れる砂浜、鼻をつく潮の香りと潮騒のBGM、トロピカルな植生、まさにハワイ的な南国風景が待っていた。

ビーチに降り立ち正面を仰ぐと、石畳はそのまま海を渡り、朱色の鳥居をくぐり、青島神社に至る。北に目をやれば、海岸線は緩やかに湾曲しながらどこまでも伸びていき、遙か彼方にシエラトン・グランデ・オーシャンリゾートの45階層のビルが屹立しているのがうっすらと見える。海岸の南方は、「鬼の洗濯板」と呼ばれるギザギザに浸食された波状岩が広がり、独特のコントラストを形成する。

ここはこの世の楽園か。ぼんやりと立ち尽くす私の横を、屋根つきの三輪タクシーがばたばたと音を立てて走り抜けていく。振り返れば、ビーチの一角にエスニックフードや雑貨を売るコンテナ屋台が立ち並び、人々はピロー樹の木陰に置かれたテーブルで食事を取り、語り合っている。



私の研究のひとつに、大正時代から現在に至るまでの青島の絵はがきを千枚以上収集し、青島が観光地化されていくプロセスを社会学の観点から分析したものがありません。

実は、昭和初期までの絵はがきの青島において、現在我々がイメージするような南国リゾート的な要素は見られません。亜熱帯植物の中に松や神社が混在している独特の雰囲気をもつ場所としてとらえられていたと考えられます。

そのような青島に観光名所としての光が当たったのは、2つのきっかけがあったからです。1つは帝国大学教授クラスの植物学者が青島に研究調査を目的として来訪し、青島の自然が科学的に権威づけられて、「青島熱帯性植物産地(当時)」として特別天然記念物に指定されたこと。もう1つは、皇族が相次いで青島に来訪したこと。

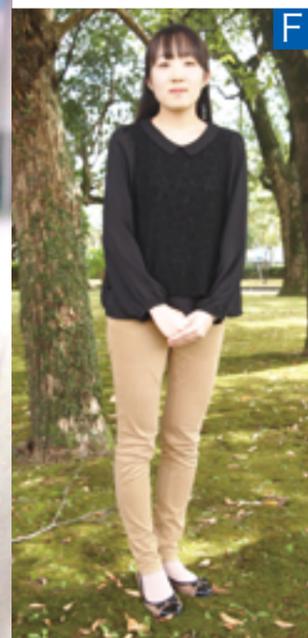
そして庶民の観光がポピュラーになった昭和初期に、青島が県外から訪れる観光客のまなざしにさらされる中で、その混沌とした魅力の中から「ピロー樹のような「南国」要素を選択的に選び取っていくことになるのです。

※倉准教授の青島に関する研究は、宮崎公立大学文学部紀要第17巻第1号に収録されています。

## 中山 本文 教授

Professor Motofumi Nakayama

昭和26年生まれ 北九州大学(現北九州市立大学)外国語学部米英学科卒業、熊本大学大学院文学研究科英文学専攻。母校の佐賀県立厳木高校、北九州工業高等専門学校(現北九州工業大学)の英語教員を経て平成6年より現職。



①ファッションのポイント、②ハマっている1曲、③最近感銘を受けた本、④MMUにきてよかったことは？

### E 金 允貞 / 留学生 韓国蔚山広域市出身

①黒の細身のパンツです。②Carly Rae Jepsenの"I Really Like You" ③浅見帆帆子『いつも忘れないで。』④宮崎での生活を始めて約1ヶ月ですが、全てが大好きです♡

### F 合澤 美希 / 附属図書館司書 福岡県出身

①異素材が組み合わさっていて襟のある黒のトップスです。②Crystal Kay feat. 安室奈美恵の"REVOLUTION" ③池上彰『わかりやすく伝える>技術』④学生数が少ない分、大学祭やスポーツデーなどの行事やイベントに主体的に参加することができて、学生生活がとても充実しています。

### C Nathan Ducker / 助教 UK Southampton 出身

① A happy smile and "can do" attitude. ② Macklemore and Ryan Lewis の "Can't Hold Us" ③ Alexandre Dumas 『The Count of Monte Cristo』(英語) ④ Relaxed Atmosphere, small university so I can recognize many staff and students.

### D 李 恩知 / 留学生 韓国蔚山広域市出身

①靴です。②SEKAI NO OWARI の "プレゼント" ③キムリョリョン『優雅な嘘』(韓国語) ④先生と学生たちが優しくて、日本の生活が楽しいです。

### A 早田 勇介 / 1年生 福岡県出身

①テラードジャケットに黒パンツできれいにまとめつつ、スニーカーで抜いているところ。②Beatlesの"Hey Jude" ③柳生好之『東大現代文でロジカルシンキングを鍛える』④勉強にサーフィンに毎日が充実していること。

### B 日高 優歩 / 4年生 大分県出身

①カメレオンTシャツと、ネコのくつ下です。②Jason Deruloの"Marry Me" ③伊東ひとみ『キラキラネームの大研究』④住みやすいところ！

### 新しい世界を見てみようと思った。

**僕** は佐賀県出身です。農家に長男として生まれたものですから、将来は当然家を継がなきゃいけないと思っていました。ところが高校3年生の秋頃、僕の田舎にある企業の工場ができて、父親がその工場長に抜擢されたんです。そうしたら父親が、「これからは農業一本じゃだめだ、勉強してみな！か」と言ってきました。野球少年だった僕は最初そんな気はなかったんですけど、新しい世界を見てみようかなと思って、勉強を始めました。

そこから約1年間、農業の手伝いをしながら、ラジオ講座と高校の教科書で一生懸命勉強しました。体力だけは自信がありましたから。そして県外の大学の外国語学部に進学しました。当時は仕送りもなく自分で生活していかなければいけませんでしたが、アルバイトもいろいろしました。もちろん勉強もしましたよ。勉強が好きというより、しなきゃいけないと思っていました。当時は1ドル360円の時代で、留学なんてできませんでしたから、大学の授業と、あとは独学でやりましたね。言語を学ぶには、ち密に文章を読んでコツコツやるしかないと思っていましたから、テープレコーダーに録音して聞いて、英字新聞を取って読んでました。卒業後は、佐賀に戻って教員をしようと思ったんですけど、まだこのままじゃ役に立たないだろうと思って、大学院に進んで英文学を学びました。大学院を卒業した後は英語教員として教鞭を執りましたが、文法や読解の授業が中心で、英文学を教える機会はありませんでした。やはり、英文学専攻ですから、自分の研究をしたいというのがあるから、MMUにきたんです。当時は開学当初で、教職

### 自分の言葉を持ち、使える人間に。

員も学生も、やる気に燃えていましたよ。とにかく土台づくりに一生懸命でした。学生が真面目なのは、今も昔も変わらないですね。

### 今の学生に言いたいこと？

敢えて言うとしたら、物を見る目を磨いてほしい、そして判断力を身につけてほしいということですね。そこで教養が生きてきます。今は便利なものが周りに溢れています。が、便利も度を過ぎると害にもなることもある。それがどこまで自分のためになるのか、見極めて欲しいですね。それと、自分の言葉というものを身につけてほしい。生きるようになることだと思っています。特に外国語をやっていると、全ての土台は母国語だということになります。だから、ゼミ生たちにも、毎回ゼミの前半に日本語の文章を音読させています。文章にはリズムがあり、それは音に出してみないと分からないんです。寝ている文字を起すこと、その言葉の奥行きがわかります。ことばをマスターしたければ母国語も外国語も音読を繰り返すことです。MMUにきてあっという間に20年以上たちました。教員生活も残り少なくなってきましたから、最近では特に、授業に「コマコマ」を、慈しみながらやっています。いかにより多くのお土産を学生たちに持たせるか、印象に残る授業をするか。一瞬の学生の輝く目、何かに触れたと感じた時、何物にも代えがたく、愛おしく、ありがたいと感じます。そして勤めた後は、少年に戻って、作物を作ったり、魚釣りに行ったり、素朴な生活をしたいですね。

ファッション、音楽、読書はみんなの関心事。とある秋の1日、MMUのキャンパスをぶらりと歩いて出会った人々のサブカル事情を調査して、ファッションスナップ風に仕上げました。

MMU MEMBERSHIP  
**REALVOICE**  
- 教えてみんなのサブカル事情 -

私がお答えします！



アカベラ部 部長  
野田 桃子さん (3年生)  
英米文学ゼミ

**本当です！** 私たちアカベラ部 EPOCH (エポック) は、ハモネブ等の大会への参加やライブハウスでの公演だけでなく、学内で公開練習やミニライブを行ったり、地区のお祭りやイベントにも参加したりしています。部員は1年生から3年生まで22人と多いのですが、5、6人の



←宮崎ランタンナイトでのライブ

主に講堂の会議室にて→練習しています！

グループに分かれて、毎週火曜日の全体練習以外は、グループごとに活動しています。高校まで合唱部で活動していた部員もいますが、大学に入ってから始める部員も多く、最初は上級生の指導を受けながらデビューライブに向けて練習していきます。演奏する曲目は皆で話し合っただけなのですが、近々出演するイベントでは、さまざまな世代の方に楽しんでいただけるように、『いい日旅立ち』『UFO』『ひこうき雲』を演奏します。

思い通りに声が出ないときなど、苦労することもありますが、いろんな場所での活動を通して、観に来てくれた方にももちろん、他県のアカベラ部の大学生、イベントの主催者など多くの方々とも仲良くなれることが嬉しいですね。活動やライブ情報については、ツイッターやフェイスブックなどで発信していますので、興味のある方はぜひご覧ください。また、見かけた際には、少しの時間を止めて耳を傾けていただけると幸いです。私たち EPOCH は、皆さんの心に残る音楽を届けることを目標に、これからも活動に励んでいきます！

連続!リーエッセイ  
いいだっへ  
その7



◆執筆  
福田 稔教授 (英語学ゼミ)

甲南大学博士課程単位取得満期退学、イリノイ大学言語学部 M.A. 修了、帝塚山学院大学人間文化学部を経て2002年に助教として本学に着任。2006年より現職。専門は理論言語学、日本ベンクラフ会員。

その香り、ヤバいです

アロマの勉強を始めて、かれこれ十年になる。資格を取って、某協会の会員にもなった。それに飽き足らず、ハンドケアや骨盤ストレッチなどの講習会にも通った。アロマのイベントでハンドケアをしているとき、学生の取材を受けたこともあった。

いつかお店でも開こうかと思いついた頃、全国的にアロマのお店が増え始めた。結局、その夢は諦めたが、その代わり日常生活でアロマを楽しんでいる。

好きな香りは、イランイランやラベンダーなどの甘い香りにオレンジ等の柑橘系を混ぜたもので、これはとても心が落ち着く。集中したい時は柑橘系が中心になる。レモンガラスのハーブティもよい。寒い季節の体調管理にも、ペパーミント、エキアセナ、ユーカリなどを活用している。もちろん、出張先のホテルの部屋でもアロマを焚いて寛ぐ(くつろいでいる。時には効能を無視して、書齋で大好きな薔薇系やラベンダーの香りを楽しみながら、『我が輩』の苦沙弥(くしゃみ)先生のごとく本の上で寝てしまうことも。

ちなみに、純粋な薔薇の精油はミリリットルで五千円は下らない。私が使っているのは、複数の香りを調合して薔薇の香りに似せた精油である。この薔薇系

は本物よりかなり安く入手できる。石けん作りにも熱が入り、アロマソープ・コンテストにも参加したことがある。(精油を染み込ませた石けんで作った)ピカチューで挑んだが、敢え無く予選落ち。気分を取り直して、香水作りにも挑戦してみた。ところが、その難しいこと、香水作りには、香りに対する並外れた感性と緻密な計算が求められる。石けん作りの比ではなかった。

注意しなければならぬのは、香りの成分は肺で直接血管に入ることである。例えると、アロマは痛い注射のようなもの。だから、私は精油やハーブの品質にこだわる。もちろん、煤が出るのでローソクの火でアロマを焚くこともしない。不純な物を身体に取り入れるのは極力避けている。

また、香りにはプラスとマイナスの両極の効果があることもあまり知られていないようだ。マイナス効果を避けることは特に重要で、アロマを学んだときは、『アロマの禁忌』を叩き込まれた。これを知らないで、毒を血液に入れてしまうことになりかねない。

アロマを楽しんでらっしゃる人は多いと思う。ただ、いつも使っている精油やハーブの種類と効能をネットで調べることがぜひお勧めしたい。ヤバいくらい大好きな香りでも、身体に合わないものはヤバいくらいヤバいのである。

新規教員紹介

編集後記

MMU NEWS PLUS  
2015.4 - 2015.9  
Index

- 4 April 平成27年度入学式を挙
- 6 June ハワイ大学等との学術交流協定調印式を挙
- 7 July 福田教授による自主講座「基本英単語で学ぶ英語の仕組み」を開催
- 8 August 戸高教授による「ひらめき★ときめきサイエンス(目指せ発音マスター)」を開催
- 9 September 定期公開講座「地域からリスクと文化を考えるー戦争・犯罪・異文化理解災害の観点からー」を開催
- 10 October 平成27年度前期卒業式を挙

Pickup News

6/24 市民講座「能・狂言入門」を開催

本学の交流センターに設置した正式な能舞台を利用して、能と狂言を学ぶ講座を6月24日から7月29日までの全5回に渡って開講いたしました。講師には宝生流シテ方師範の杉岡敏英氏をお迎えし、能・狂言の歴史、ストーリーの構成、能面の役割など、実演や体験を交えながら専門的知識を学びました。



8/1,8 「ひらめき★ときめきサイエンス」を開催

小学5・6年生を対象とした「ひらめき★ときめきサイエンス(日本学術振興会委託事業)」を8月1日及び8日に開催しました。「目指せ発音マスター」では、音声認知システムを活用した英語の発音練習を、「自然と共に生きる」では、西都市鏡鏡地区の焼畑跡地での生物多様性の調査を行いました。



MMUの最新情報は、ウェブサイトでもご確認ください

メテオ・ロケット・宇宙工学

野崎 秀正 准教授 (のさき ひでまさ)

生まれも育ちも宮崎、前の職場も宮崎と、根っからの宮崎人です。教職をとっていない学生さんとは接する機会が少ないかも知れませんが、できるだけ多くの方と親しくなりたいと思っていますので、どうぞよろしく願います。

- 学位：博士(教育学)
- 専門分野：教育心理学
- 学歴：広島大学大学院 教育学研究科 習開発学専攻

言語・文化専攻

楠田 剛士 助教 (くすだ つよし)

専門は日本近現代文学で、講義では日本文学や日本文化論などを担当します。学生のみならず対話しながら、日本文学を読むこと・研究することのおもしろさを共有できればと思います。どうぞよろしく願います。

- 学位：博士(比較社会文化)
- 専門分野：日本近現代文学
- 学歴：九州大学大学院 比較社会文化学 府 日本社会文化専攻

今回のMMU SHiP Vol.8はいかがでしたでしょうか？いつもと少しトーンが違ような気がしませんでしたか？実は、今回は学生記者はお休みさせていただきました。編集委員は、職員4名で作成しました。編集委員は、学生が参加していないせいか、若干活気が足りないようにも思えました。出来上がったものは、これまでとまた一味違う、大人の哀愁が漂っているような…(笑)。みなさんの感想を早くお聞きしたいところです。

Vol.8では、「特集」のハワイ大学との学術交流協定の記事から、「しつぽり×視界よし」の中国の記事など、MMUらしい国際色豊かな記事となっています。私が担当した「未来のCompass」では、社会に出てもなお目標に向かって努力を続け、アメリカへ留学する卒業生をインタビューしました。すぐに影響されてしまう私は、自分には目標を持って日々過ごしているのか？このまま歳を重ねていくのか？と、自問自答が始まりました。その答えはまだ出ていませんが、自分を見つめ直すいい機会となりました。

MMU SHiPは、年2回、春と秋に発行されますが、何かを新たにスタートするのにはびつたり時期だと思えます。この記事を書いている私は、帰省のため明日から海外へ渡航して参ります。日常とは異なる文化、人びとに触れることで、多くの刺激を受け、宮崎に戻ってから仕事に少しでも還元できればと思っています。読者のみなさんも、この秋から何か新しいことにチャレンジしてみたいかがでしょうか。

■担当 金丸晴香(企画総務課総務係)

## 与えられた環境で ベストを尽くす。

日向市立財光寺中学校 教諭

淵田 春香 さん

(宮崎県初のフルブライト奨学生)

平成 21 年度卒業生

英米文学ゼミ (当時)

—現在の仕事について、教えてください。

日向市の中学校で英語を教えているのですが、英語のスキルアップのため、自己啓発等休業という自己啓発や国際協力の機会を提供する制度を利用して、8月から約1年間、アメリカに留学します。

—留学の概要を教えてください。

私は幸運なことに、「フルブライト奨学金制度(※)」に採用いただくことができました。いくつかあるプログラムのうち、「語学アシスタント」というものに参加し、アメリカの大学で日本語を教えつつ、英語教育のスキルや米国の社会文化についての知識を深めることを目的としています。

—なぜ社会人になって留学を？

卒業してすぐ教職に採用されたものの、毎日が目の前の仕事をこなすことで精一杯でした。平日も帰りが遅く、週末も部活動の指導等で、曜日の感覚もなく…。正直きつかったです。でも、もっと勉強して、自分をブラッシュアップしたいという想いをずっと持っていました。そして教職4年目に突入した時、やっと自分のことを考える余裕が出てきたので、今しかない、と。

—仕事と勉強の両立は大変だったのでは？

はい(笑)。特に、応募資格として「TOEFL」以上のスコアレポートを提出しなくてはいけなくて、そのための勉強に大変苦労しました。

—それが強かったんですね。

そうですね。このプログラムは、自身が英語を学ぶだけでなく、子どもたちに日本語を教えるという教師の立場としてもスキルアップができるので、私にとっては最適なプログラムです。絶対に受かりたいと思って必死で勉強しました。でも明確な目標が決まっていたので、そこまで苦ではありませんでした。むしろ日々の受験勉強は新鮮で楽しかったです(笑)。

—元々英語が好きだったのですか？

いえ。実は、MMU入学当初は英語を勉強する気は全くありませんでした。特に何をやりたいという目標もありません。試しに中山ゼミ(英米文学)の面接を受けたところ「君はバドミン

トンできるからって聞かれて…え？みたいな。それが中山ゼミに入ったきっかけですね(笑)。でも、その後、中山先生の勧めを受けてニューヨークの異文化実習に参加したのをきっかけに英語に興味が出てきて、3年生の時には、公費でカナダにも留学させていただくほどになりました(笑)。

—先生がきっかけをくれたんですね。

はい、私は自分の進みたい道が最初からはっきりしていた訳ではなかったのですが結構悩ましました。そんな時、中山先生に相談して色々なアドバイスを頂きました。そのアドバイスをもとに一つずつ目の前のことに全力で取り組んだことで、良い方向へ進めたのではないかと思います。今でも悩んだときは中山先生に会いにきていますが、いつも本当に良い刺激をくださるので感謝しています。今回の留学で学んだことを、子どもたちにしっかりと還元し、今度は私自身が子どもたちの良い刺激となれればいいなと思っています。

—後輩へのメッセージをお願いします。

大学生のみならず、若い時こそ恐れず色々なことに挑戦してください。勉強や就職など、4年間の大学生活において、自分の思い通りにならないことはたくさんあるかもしれませんが、それを言い訳にせず、与えられた環境でベストを尽くしてほしいと思います。そして目の前の壁を一つ一つ乗り越えていく、そうすると、自然と道が開けてくると思います。

※フルブライト奨学金制度

日米両国政府と民間企業からの奨学金を受けながら米国内に留学できるプログラム。



恩師の中山先生と一緒に